

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 26 年 6 月 19 日(木) 15:30 ~ 16:30 第一会議室

## 1. 挨拶

— 須藤健一（館長）—

## 2. ニュースリリース

— 岸上伸啓（副館長）—

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

## 3. 研究公演

### アリラン峠を越えていく—在日コリアン音楽の今

詳しくは  
こちら

在日コリアンが奏でる音楽には、マイノリティとしての体験や歴史の記憶が投影されています。朝鮮半島の伝統音楽をベースにした「音楽の今」をお楽しみください。

日 時：2014 年 7 月 20 日（日）

14：00～16：30（開場 13：30）

場 所：国立民族学博物館 講堂

参加方法：要申込【2014 年 6 月 30 日（月）必着】

参加料：無料 ※要展示観覧券（一般 420 円）

演奏者：安聖民／李政美／金剛山歌劇団

主 催：国立民族学博物館



— 寺田吉孝（先端人類科学研究部・教授）—

## 4. みんなく映画会

### かぞくのくに

詳しくは  
こちら

国境に隔てられた在日コリアン一家がともに過ごした、数日間の物語『かぞくのくに』を上映します。国境や国籍のありかたや家族のかたち、日本の多文化性のゆくえ、越境が人の心にもたらす影響について、考えてみましょう。

日 時：2014 年 7 月 12 日（土）

13：30～16：00（開場 13：00）

場 所：国立民族学博物館 講堂

参加方法：要申込【2014 年 6 月 20 日（金）必着】

参加料：無料※要展示観覧券（一般 420 円）

主 催：国立民族学博物館



— 菅瀬晶子（研究戦略センター・助教）—

## 5. 夏休み子供ワークショップ

### 貝からわかる世界の暮らし—みんなぱくで貝を探してみよう!

詳しくは  
こちら

世界中の貝は、日用品や装飾品など、さまざまな手作りの素材として用いられます。みんなぱくの展示されている貝製品から、世界中の暮らしを想像してみましょう。

日時：2014年7月21日（月・祝）  
10：30～16：00（受付10：00）

参加方法：要申込

参加料：500円※別途 展示観覧料（小学生110円）が必要

定員：15名

対象：小学4年生～6年生



— 上羽陽子（文化資源研究センター・准教授） —

## 6. 創設40周年記念出版

### 世界民族百科事典

詳しくは  
こちら

国立民族学博物館創設40周年記念として「世界民族百科事典」を出版いたします。文化人類学と民族学の使命は、異なる文化や社会の人びとと長く生活を共にして、今起きている出来事や現象を現地の人びとの視線とその社会的脈絡で読み解き、情報発信する事にあります。本書では、生き生きとした人間集団の営みの実像を読むことができます。

— 杉本良男（民族文化研究部・教授） —

## 7. 博学連携ワークショップ2014

### 学校と博物館でつくる国際理解教育 —センセイもつくる・あそぶ・たのしむ

詳しくは  
こちら

本館を活用した国際理解教育、教育の実践例の紹介やワークショップを通して、国際理解教育における博学連携の意義や可能性について考えます。

日時：2014年8月5日（火）  
10：20～17：00（受付10：00）

場所：講堂およびセミナー室（2階）、本館展示場内

参加方法：要申込／当日参加可

参加料：無料

共催：日本国際理解教育学会



— 上羽陽子（文化資源研究センター・准教授） —

## 8. お知らせ

### 梅棹アーカイブズ

詳しくは  
こちら

梅棹資料室では、梅棹忠夫アーカイブズの整理を進めており、この度整理できた資料から順次「梅棹アーカイブズ」として、ネットで公開をしていくこととなりました。

— 高橋安司（情報サービス課・主幹） —

「映像人類学—人類学の新たな実践へ」  
(村尾 静二、久保 正敏、箭内 匡 編集) せりか書房

「リスクの人類学 不確実な世界を生きる」  
(東 賢太郎、市野澤 潤平、木村 周平、飯田 卓 編) 世界思想社

— 飯田卓 (先端人類科学研究部・准教授) —

## 10. 研究こぼれはなし

### 東京オリンピックに出たネパール人ボクサー

今年2月、1964年の東京オリンピックにネパール五輪史上初めて参加したボクサーに会いました。  
ナム・シン・タパ・マガール氏 (68歳)、参加ネパール人選手6人中存命の2人のうちの一人です。  
彼が体験した50年前の話はそれ自体興味深いものでしたが、他方で聞き取り調査のあやうさと面白さに  
気づかされる機会ともなりました。

— 南真木人 (文化資源研究センター・准教授) —

